

(3)秋は、どんな虫や植物が見つけれられるでしょうか

ねらい 学校や地域で秋の時期に生息する昆虫や植物を調べ、その活動の様子を捉える中で、それらの生態と気温との関係性を理解する。

ポイント 夏時期からの虫や植物の姿の違いに目を向け、次世代につなぐ準備をしていることに気付いていくとよい。

- ◇関連学習単元
理科教科書 3年
「実ができたよ」
理科教科書 4年
「すずしくなると」

- ◇見付けた生き物の絵
紹介されていない虫や植物
(実)を描くのもよい。

- ◇見付けた生き物の確認
植物に関しては、この時期、
多くは実を結んでいる。観察
の過程で、中身を予想させ
種の存在を確認する。

- ◇2018年9月後半～
12月前半の平均気温
(札幌管区气象台データ)
次第に気温は低くなってい
き、11月中旬頃から「一桁」
の気温となる。例年では11
月第2週頃に初雪が降る。

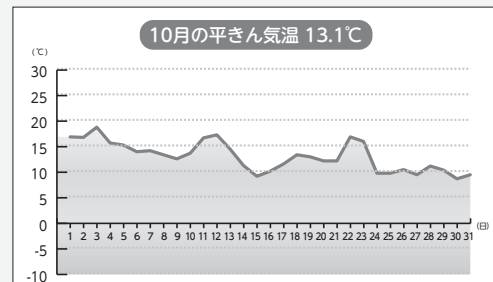
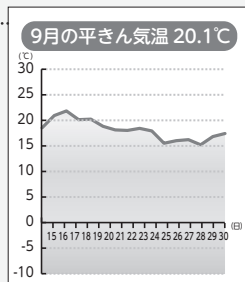
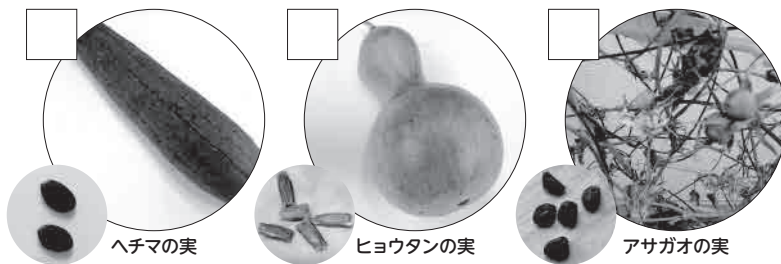
(3)秋は、どんな虫や植物が見つけれられるでしょうか

✎見付けた生き物の絵をかき入れてみましょう。

〈観察のポイント〉

- 秋の生き物はどうなっ
ているかな？
- いろいろな実や種を
さがしてみよう！
- 予想してみよう！
冬になったら？

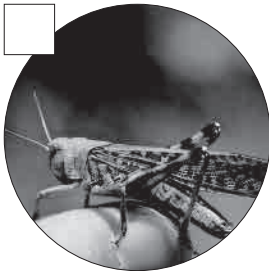
✎見付けたら、□に○をかきましょう。



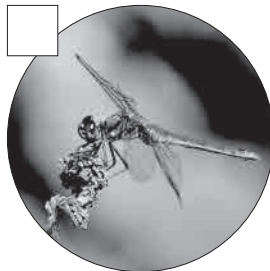
留意点

- 野外の観察を行う場合は、春・夏における安全面の注意、自然愛護の配慮などについて指導しておきたい。
- 春からの植物の姿を振り返ることで、植物の成長（葉・根・茎・花・実）について理解する。

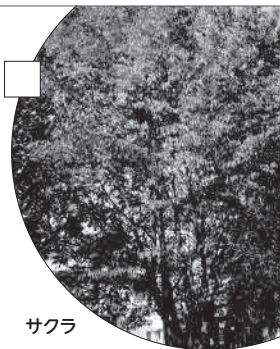
こんなところにも生き物がいるよ!



トノサマバッタ

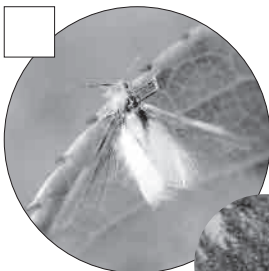


アキアカネ



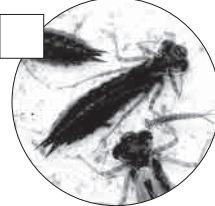
サクラ

トノサマバッタの育ち方



トドネオオワタムシ (雪虫)

この生き物は、大きくなったら何になるのかな?



トンボの育ち方

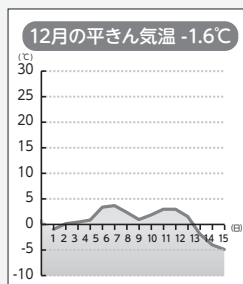
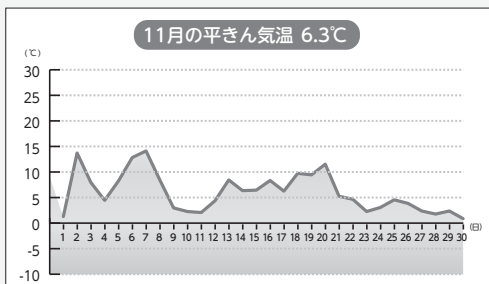


答え

これはトンボのよう虫で「ヤゴ」と言います。トンボとはすがたがちがうね。

トドネオオワタムシ、ヤゴ
写真提供(敬称略):[札幌の昆虫]著者 木野田 碧公

ほかにも、水の中にはいろいろな生き物がいるよ。さがす時は、大人のひとといっしょにさがそうね。



※令和5年に札幌市で初雪を観測したのは11月11日です。平年より10日遅く、前年より5日早い観測となりました。

◇関連学習単元

理科教科書 3年

「こん虫のかんさつ」

◇広葉樹と針葉樹

広葉樹は紅葉した後、落葉し、針葉樹は色の変化がないまま落葉する。いずれも実はなるが、違いがあることを理解する。

◇ヤゴ

特にトンボ垂目(不均翅垂目)のものの幼虫を指す通称。肉食性の水生昆虫である。語源は成虫であるトンボを表す「ヤンマの子」を略して「ヤゴ」と称された。幼虫の期間は数年に及ぶものから数週間のものまでであるが、最終的にはヤゴが陸に登って羽化し、トンボとなる。

わたしたちのへうしと生き物